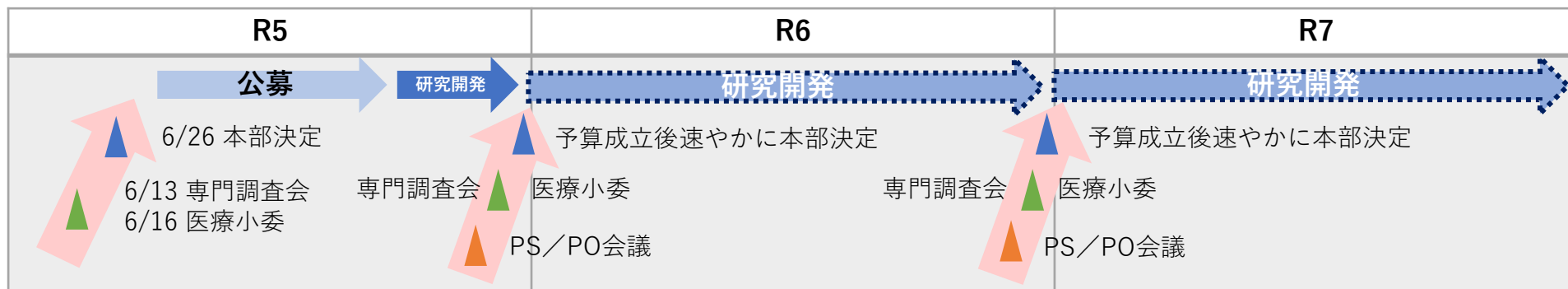


# ゲノム研究を創薬等出口に繋げる調整費の措置について

- 令和5年6月13日の健康・医療戦略推進専門調査会においてAMED理事長より、異業種・異分野が連携し、創薬等の出口を見据えた機動的な取り組みを推進したいとして、「ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発の強化」が提案された。
- 当日の資料の抜粋は以下の通り。
  - ・ 調整費の機動的な性質を活かした複数年度に渡る新しい取り組み
  - ・ 約3年間で想定し、その間毎年度調整費を措置する
  - ・ 後年度は、PS/POによる進捗管理を踏まえて、年度当初から調整費の必要性を判断する



- 令和5年6月26日に健康・医療戦略本部決定踏まえ、令和5年第1回調整費4.3億円を原資として7月より公募を実施し、12月に15課題を採択した。

◎ PS/POによる進捗管理を踏まえ、専門調査会の議論を経て、年度当初からの必要性を確認された課題について、令和6年度予算が成立次第速やかに決定していく。